

【地理歴史科教育論】 1.4ver (2018.11.8 版)

1. 授業のテーマとねらい

本授業は、民主主義社会の形成者の育成という視点から中等社会科及び地理歴史科を指導できる教師の資質・能力の育成をめざす。本授業で多様な active leaning の手法を実体験することで、以下の3点ができること目的とする。

- (1) 私たちの k-12 で学んだカリキュラムを省察し、近代の国民国家が地理歴史教育を必要としてきた理由を説明できる。
- (2) 教養的地理歴史教育の課題を乗り越える（それに代わる）ために提起されてきたカリキュラム・単元構成を類型化し、各類型の意義や課題を評価できる。
- (3) 地理歴史科の指導で用いられる多様な教材を類型化し、各類型の特性を活かした指導法を構想することができる。
- (4) (2)と(3)を踏まえて、民主主義社会の課題と子どもの関心に応える、学びのリレバンスを追究した1時間の授業計画書を構想できる。

2. スケジュール

<導入>

- (1) 第1講・第2講【教科がもつ社会的・政治的機能】 10/04

1コマ： 私たちが思い描く地理・歴史教育とは何か

- ① どんな空間で私たちは地理や歴史を教えることになるのか
- ② 地理や歴史を、なぜ学ぶのか・教えるのかーヨーロッパ史を事例に

2コマ： なぜ国民国家は、なぜ民主主義社会は、地理・歴史教育を求めるのか★

- ① 家庭や学校は、いかにして構成員のアイデンティティを育てているか
- ② 教科書は、いかにして構成員のアイデンティティを育てているか
- ③ 思想の統制 vs 自立形成支援、認識の一元化 vs 多元化

<展開1>

- (2) 第3講・第4講【目標と単元構成の関係】 10/11

1コマ： なぜ「織豊政権」を教えるのか

- ① A-Dの単元計画を比較しよう
- ② A-Dの単元計画は、どのような資質・能力を育てようとしているか

2コマ： なぜ「アフリカ」を教えるのか★

- ① A-Dの単元計画を比較しよう
- ② A-Dの単元計画は、どのような資質・能力を育てようとしているか
- ③ あなたの「一押し」はどれですか、それはなぜですか

- (3) 第5講・第6講【目標とカリキュラムの関係】 10/18

1コマ： なぜ歴史の「流れ」や「繋がり」にこだわる教科書とこだわらない教科書があるのか

- ① A-Cの教科書構成を比較しよう
A：フェントン編：A New History of the United State

B : マシャラス編 : World History Through Inquiry

C : シャルバーグ編 : Opposing Viewpoints in US History

② A-C の教科書は、どのような資質・能力を育てようとしているか

③ 上の教科書を参考に、日本版の歴史カリキュラムをデザインしよう

2コマ : なぜ地理の「広がり」や「まとまり」にこだわる教科書とこだわらない教科書があるのか★

① A-C の教科書構成を比較しよう

A : ベドナーツ編 : World Culture and Geography

B : バーステウィーグ編 : World Cultures

C : ヒル編 : Geographic Inquiry into Global Issues

② A-C の教科書は、どのような資質・能力を育てようとしているか

③ 上の教科書を参考に、21 世紀の地理カリキュラムをデザインしよう

(4) 第7講・第8講【学習指導要領のカリキュラムの特質】 10/25

1コマ : さまざまな単元・カリキュラムを比較して分かること

① 3つの教科書構成、単元構成を比較しよう

A : 教養的な地理歴史教育 : 地理科と歴史科の分化

B : 科学的な地域時代教育 : 地理科学科と歴史科学科の分化

C : 科学的な概念探求教育 : 社会科地理と社会科歴史の統合

D : 政治的な社会構想教育 : 市民科としての連携・一体化

② 新学習指導要領の「地理歴史」を読む

2コマ : 日本の学習指導要領は何を目指しているのか●

① 教科の目標、科目の構成、科目の内容構成

② 新科目「〇〇総合」「〇〇探究」とはなにか

③ 新しい地理歴史科を評価しよう。「〇点/100点です、なぜなら・・・」

<展開2>

(5) 第9講・第10講【教師の多様な授業デザイン】 11/01

1コマ : 教師は、さまざまな制約の下でどのように教えているか

① 教師を対象にした意思決定実験を読む

② 「私だったらどうするか」、私の信念、私の置かれた状況、そして私の判断

③ 3人の教師の意思決定の違いを図示しよう

2コマ : 教師の授業づくりの意思決定を左右しているものとは何か★

① 公的 (formal) カリキュラムと実行 (enacted) カリキュラム

② なぜ教師のゲートキーピングは避けられないのか

(6) 第11講・第12講【教材を活かした授業デザイン1】 11/8

1コマ : 地理・歴史の教師は、どのような資料を取り上げているか

① 「メタファー」型教材と「モデル」型教材の良さ、危うさとは何か

② 2つの教材のバリエーションを見つけよう

③ 使い方・問い方を定式化しよう

2コマ : 資料の特性を踏まえて、授業をデザインしよう★

① 「メタファー」型教材を自分で探して地理と歴史の授業をつくり、実践してみよう

② 「モデル」型教材を自分で探して地理と歴史の授業をつくり、実践してみよう

(7) 第13講・第14講【教材を活かした授業デザイン2】11/15

1コマ：地理・歴史の教師は、授業でどのような資料を取り上げているか

- ① 「ストーリー」型教材と「データ」型教材の良さ、危うさとは何か
- ② 2つの教材のバリエーションを見つけよう
- ③ 使い方・問い方を定式化しよう

2コマ：資料の特性を踏まえて、授業をデザインしよう★

- ① 「ストーリー」型教材を自分で探して地理と歴史の授業をつくり、実践してみよう
- ② 「データ」型教材を自分で探して地理と歴史の授業をつくり、実践してみよう

<終結>

(8) 第15講【理論を活かした指導案開発】11/22 (休講)

2コマ：学習の成果を生かして、学習指導案を作成しよう●

- ① 4人の指導案の良さを探そう
- ② 規準・基準に基づいて、指導案の良さを評価しよう

3. 評価

(1) グループでの取組課題★ 5点×6回=30点

授業の1コマ目では、主にGWに取り組みます。

授業の2コマ目では、GWの成果をプレゼンテーションしたり、議論したりします

(2) 個人での取組課題● 30点+40点=70点

① 学習指導要領の分析 (30点)

- ・高校地理歴史科の地理 or 歴史に焦点化して、改訂の目的と内容構成を分析する。
- ・提出期限は、10月25日(木) 20時。Bb9経由で提出する。第7講までに学んだ概念を活用して、新指導要領の特質を明らかにする

② 指導案の開発 (40点)

- ・授業で検討した4種の歴史教材を使って、1時間の学習指導案を開発する。
- ・提出期限は、11月22日(木) 12時。Bb9経由で提出する。

4. その他

(1) 持参物

毎回、ノートPCまたはタブレット端末を持参すること。

コース packets (教材資料集) は、下記のホームページでダウンロードしてください

(2) 欠席・遅刻

3回を越えて欠席した場合は(特別な理由がある場合を除いて)受講資格を失います

9時を越えて入室した場合は遅刻とします。2回の遅刻で、1回の欠席とみなします

(3) 参考書・教科書

以下の文献をお勧めします、

- 社会認識教育学会編『中学校社会科教育』『地理歴史科教育』(新版)、学術図書

↑生協で購入してください。随時参照します

- 全国社会科教育学会『新 社会科授業づくりハンドブック中学校編』, 明治図書
- スティーブン・ソートン/渡部竜也・山田秀和・田中伸・堀田諭訳『教師のゲートキーピングー主体的な学習者を生む社会科カリキュラムに向けてー』春風社
- キース・バートン, リンダ・レヴスティク/ 渡部竜也, 草原和博, 田口紘子, 田中伸訳『コモン・グッドのための歴史教育ー社会文化的アプローチ』春風社
- 原田智仁編『社会科教育のルネサンスー実践知を求めてー』保育出版社
- その他の参考図書・参考論文は, 下のホームページで探してください。

(4) 講義情報

端末には, 以下の URL とアドレスを登録しておいてください。

- ホームページ: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kusahara/kusalab/>
- メールアドレス: kusahara@hiroshima-u.ac.jp

教員との面会は, 以下のとおりです。事前にアポを取ってください

- A404 草原研究室
- B101 EVRI 室

(5) TA の皆さん

3名の大学院生: D2: 鉦さん<d176773 >, M2: 城戸さん<m172717>, M1: 青本さん<aomoto-kazuki>がサポートします。授業づくり等で相談したい時は, A410 の院生室を訪ねるか, アポをとってください